

意見書

9月定例会の最終日に、議員提出議案の意見書2件が提出され、審査の結果、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。内容については、次のとおりです。

高齢者の安全運転支援と移動手段の確保を求める意見書

1 自動ブレーキやペダルの踏み間違い時の急加速を防ぐ機能など、ドライバーの安全運転を支援する装置を掲載した「安全運転サポート車(サポカーS)や後付けの「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」の普及を一層加速させるとともに、高齢者を対象とした購入支援策を検討すること。

2 高齢運転者による交通事故を減らすため、自動ブレーキなどを備えた「安全運転サポート車(サポカーS)」に限定した免許の創設や、走行できる場所や時間帯などを制限した条件付き運転免許の導入を検討すること。

3 免許を自主返納した高齢者が日々の買い物や通院などに困らないよう、コミュニティバスやデマンド(予約)型乗合タクシーの導入など「地域公共交通ネットワーク

ク」のさらなる充実を図ること。また、地方自治体などが行う、免許の自主返納時における、タクシーや公共交通機関の割引制度などを支援すること。

太陽光発電の適切な導入に向けた制度設計と運用を求める意見書

1 再生可能エネルギー特別措置法に基づく事業計画の認定に当たり、一定規模以上の案件については、地域住民・自治体・自然保護関係の専門家を交えた事前説明を発電事業者が義務付けるとともに、その具体的な手続を事業計画策定ガイドラインに明記するなど、地域の環境保全と地域経済への貢献を明確にするのに住民との関係構築のために必要な取組を行うこと。

2 太陽光発電設備が災害時に斜面崩落を誘発することのないよう、急傾斜地以外の斜面に設置される場合も含め、太陽光発電設備の斜面設置に係る技術基準の見直しを早急に行い、防災上の基準・照り返しなど周辺環境に配慮した環境基準を設定し、環境アセスメントに取り入れること。

3 発電事業終了後に太陽光発電設備の撤去及び適正な処分が確実に行われるよう、発電事業者による廃棄費用の積立ての仕組み、回収された太陽光パネルのリサイクル

ルの仕組みの確立に向けた取組を進めること。



12月定例会の予定

日 程	議 事
11月26日(火)	開会、議案説明
29日(金)	議案に対する質疑
12月5日(木)	文教福祉委員会
6日(金)	総務委員会
9日(月)	まちづくり委員会
11日(水)	一般質問
12日(木)	
13日(金)	
19日(木)	委員長報告、採決、閉会

※各日、午前10時開会予定です。  
※議場は、本庁舎の4階です。  
※日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合があります。

編集後記

今年はいか月ほどの間に2つの台風が関東地方に襲来し、各地に爪痕を残した。1つは千葉市付近に上陸した台風15号。千葉県に大規模な停電と断水を引き起こした。その復旧が終わらないうちに、2つ目の台風19号が伊豆半島に上陸、首都圏を直撃、関東・東北地方を縦断し、河川の氾濫等により80人以上の死者・行方不明者を出した。台風は、19号にも見られたように南海上の海面水温が30度以上で「急速強化」と呼ばれ、急激な発達を遂げる。日本近海も海水温が27度以上もあり、勢力を保ったまま上陸したため広範囲に大雨を降らせた。地球温暖化が進めば大気中に保持される水蒸気の量が増大し、より強力な台風となる。今こそ温暖化対策を考える時である。

令和元年10月 新井 重一郎 記

編集委員

- 委員長 赤岩 秀文
- 副委員長 金崎 昌之
- 委員 江田 富徹
- 上林 富夫
- 桜井 重均
- 新井 重一郎
- 本橋 貢